

第3回 1/32 スバル360(LS)の巻



今回は企業プラモ(企業等が宣伝の為に用意したプラモデルの意、当方造語)の登場です。当時(1985年頃)母がスバルの自動車に乗っており、今で云うところのダイレクトメールが届いたのではなかったかと思います。それには(おぼろげな記憶ですが)「本物のスバル360が見れます」「ご来場の方にプラモデルをプレゼント」という様な事が書いてあり、母にせがんで見に行ってきたのです。当時既にスバル360は街を走っておらず、初めて見る実車の360は思いの外小さくて驚いた記憶があります。

肝心のプラモデルについては、中身は当時LSから発売されていたものと同じですが、箱はスバルオールスター状態です。写真左下に写っているのはマウスパッドではありません(笑)スタンド写真(厚紙に印刷されておりカレンダーの様に立てて飾ることが出来る)です。どうやらアルシオーネが発売されたときの催しだった様で、これが同梱されていました。実はこの時母が係の人に頼んでくれたので、私はこの貴重なプラモデルを2箱貰ってその内1箱を組み立てたのですが、完成後に母に見せたんだっけ？



キットデータ	
メーカー	LS
スケール	1/32
当時価格	非売品

このモデルの存在意義はやはりこのスペシャルな箱にあると思うので箱の周囲も紹介します。中身に関しては現在もアライから発売されており、内容も変更されていない様です。プルバックゼンマイで走らせる様にも出来ますが、後席のゼンマイユニットが丸見えになるので私はディスプレイ型に組みました。

最近では企業が宣伝用にプラモデルを配るという話は全然聞きませんね。プラモデルの価格上昇(企業側の懐具合)が原因なのか、プラモデル人口の減少が理由なのか。あの時私が感じた嬉しさをもっと若い人にも体験してもらいたいなあ、とふと思いました。